

# 消防団にチェーンソーと油圧ジャッキを配備

消防団員は普段はそれぞれ自分の仕事をしています。火災等の災害時に出勤するほか、いざという時に備えて訓練を行っています。



奥野消防団長

近年、発生する災害は大規模化しており、首都直下地震の発生が想定されていることから、地域の総合的な防災力の向上が求められています。このため災害発生時の救助活動等においても消防団の力は重要となります。

地震で建物が倒壊した場合など、早期に救助活動ができるよう、消防団にチェーンソーと油圧ジャッキを配備し、7月23日と30日、大磯運動公園において訓練を行いました。

訓練は、チェーンソーと油圧ジャッキの安全な操作方法の講習のほか、地震で建物が倒壊した場合を想定し、建築木材の切断と、油圧ジャッキを使用した救出訓練を行いました。

また、近年各地で台風や集中豪雨による災害が発生しており、水害に備えるため大磯建設協会の協力により、土のう作成訓練も行いました。

消防総務課 ☎(61)0911

## 油圧ジャッキ訓練



油圧ジャッキと当て木の設定を確認



油圧ジャッキを使用して下敷きの人(人形)を救出

## チェーンソー訓練



消防職員による安全な操作及び点検方法の説明



建築木材を切断

## 土のう作成訓練



建設協会による土のう作成方法の説明



建設協会の指導のもと、団員が土のうを作成

## 放火に注意!

▼放火は出火原因の第1位!

全国で発生している火災の出火原因の第1位は放火です。

▼夜間に多い!

夜間で人通りが少なく、人目につきにくい時間帯、場所が狙われやすいです。

▼防ぐには?

就寝前に物置や車庫などを施錠することや、家の周囲・駐車場などは明るくし、燃えやすい物は片付けるようにし、ごみは決められた日に指定場所に出す

街頭消火器の「いたずらや持ち去り」は犯罪です

町では現在、ごみ集積場所周囲やごみ集積場所から離れた住宅密集地域等に街頭消火器を設置しています。

街頭消火器は火災が発生した際、迅速に初期消火を行い、被害を拡大させないために設置しており、町民の大切な財産であり、安心・安全を守るためには、なくてはならないものです。

しかし、その街頭消火器がいたずらにより、噴射されていたり、持ち去られたりする被害が増加しています。

これらの行為は犯罪です。絶

など、放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない環境づくりに努めましょう。

いざというとき被害を大きくさせないために住宅用火災警報器、家庭用消火器を備えましょう。



対に行わないでください。

また、これらの行為を見つけた場合や噴射されている消火器を見つけた際は、消防署までご連絡ください。



消防署 ☎(61)0911